



July 2015

Pumpkin English School

The Pumpkin Newsletter



Star Festival

毎年開催していますパンプキンピクニックは、5月24日に小雨の降り続くあいにくのお天気の中、青島亜熱帯植物園の隣に新しくできた芝生の広場において、お集まりいただいた多くの生徒さん、保護者の皆様に、当校の外国人講師、日本人スタッフがご一緒させていただき、無事開催することができました。いろいろなゲームや遊び、そして砂浜に移動して砂のお城作りなどをして、楽しく過ごすことができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

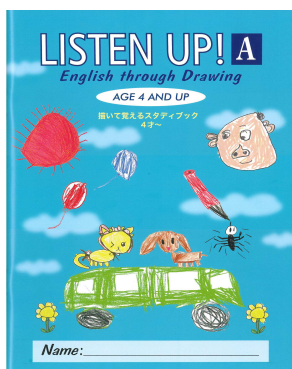


☆ PLSの会

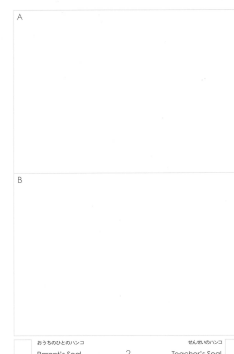
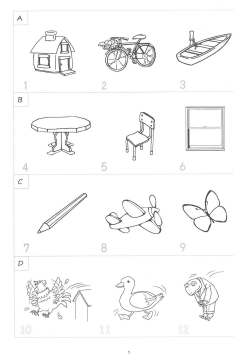
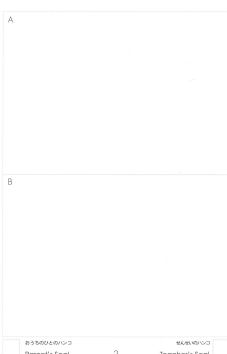
年に1回、いろいろなPLS姉妹校を回って開催されるPLSの会、今年は東京のみのり幼稚園が運営するみのりイングリッシュスクールにおいて6月13日、14日に開催されました。今年は日曜日の1日のみの参加になり、ホスト校のモデルクラスの見学が中心で、少ない時間の中で各姉妹校の方々と意見交換をして参りました。毎年のことですが、他校のPLSクラスを見させていただくたびにその素晴らしさに改めて感動します。今回も、当校のレッスンで改善すべきいくつかのポイントを確認できました。早速、外国人講師に伝え、できるところから改善していきます。

☆ PLSの幼児教材のご案内

PLSの幼児向け教材に「LISTEN_UP!」リスンアップがあります。これはPLS本校の幼児クラスでは主たる教材として使用しておりますが、当校では希望者のみの販売を行っております。ほとんどご案内しておりませんが、現在の使用されている生徒さんはいらっしゃいませんが、子どもの興味を引く工夫が随所になされているCD付きワークブックです。語彙力強化や英語に触れる時間を増やしたいとお考えの方、ご興味がある方は事務局にサンプルがございますので、お近くの日本人スタッフに利用方法等お尋ね下さい。ご家庭で取り組んで頂き、日本人スタッフが確認させていただきます。販売価格はAとBのセットで3,100円です。



Example: One: a dog. Two: a cat. Three: a rabbit. Circle the cat.



スタッフ日誌 七月号ニュースレター

英語を話せるようになるのに必要な事、それはたとえシンプルでも会話のキャッチボールができる事です。日本の小学生同士の会話をイメージしてもらえると一番分かりやすいかと思います。シンプルな言葉を最大限活用し、自分の興味の赴くままに話してみる。その様子はみんなとても楽しそうです。間違いを恐れる事も少なく、その中で間違いを重ねながら徐々に難しい会話へと発展していきます。

まず目指すべきは基本単語を使ったできるだけシンプルな表現ができるようになる事。それが話せる感覚の核の部分になります。どんなにシンプルな表現も主体的に自分が伝えたいと思い、自分で考え、文を作り、それを自分の口から発して伝わった成功体験を何度も重ねてから、はじめて使いこなせる英語として頭に残ります。この核となる話せる感覚や習慣を身に着けるためには、またしっかりと頭に残すにはどうしたらいいのでしょうか？

質問を予測して、答える内容を書きだしておく。

どのクラスでも共通して聞かれる質問、How are you?に対して次の一步を考えてみましょう。

例えば中学生に上がると忙しいからか、よくI'm tired.やI'm sleepy.と答えるケースがあります。しかしPLSの教材を通して既に様々な表現を覚えているのに、それらの実践演習に挑戦しないのは非常にもったいない。中学生からはそこにWhyを、慣れてきたらそこから更にWhen? With who? Where?などの内容を追加していったほうがいいと思います。

先ずは話す内容を事前に決めておき、その出来事の詳細を英語で書き出してみる所から始めてみましょう。

例えばI'm tired. 何故今日は疲れているのかを説明してみます。部活が忙しかったから、宿題が多かったから、テストや模試があったからなどたくさんの理由が浮かんできます。

例 第一段階:I'm tired and you?

第二段階:I'm tired because I went to club activity. How about you?

第三段階:I'm tired because I went to club activity. My coach was angry today so I had to practice very hard. How about you?

第一段階を一年間続ける場合と第三段階を手を変え品を変え一年間続ける場合、どちらが長い文章を話すのに慣れていくかは言うまでもありません。クラスの中だけでなく、フロントや廊下で他の先生にあった時なども入れば作った文章を数回使うチャンスがある事になります。

上記がなじんできたら、次は更にその詳細を考えてみます、部活は具体的にこの一週間どう忙しかったのか？朝練があったから、勉強も忙しかったから、大会前で練習が激しかったから、また、いつもより先生の機嫌が悪かったからなど、色々なパターンが考えられます。ここでもWhen/What/Where/Who/What/Howを軸に考えると分かりやすいかもしれません。塾や楽器などの習い事でも同様です。このように言える事はたくさんあると思います。しかしこれらを即興で言うのはとても難しい事です。そこで先ずは前日の夜に書き出して、自分の言いたいことをまとめておくともスムーズに話せるようになります。

このレベルが皆さんにとって既に出来る内容である事は重々承知しています。しかし、楽器でもスポーツでもそうですが、同じ出来るでも何度も繰り返し、意識して出来る事の質を上げていく事が着実な成長に繋がります。伝えたい内容を決め、自分で考え、文章を作り、自分の口から発した経験は使える英語として必ず頭に残り、同じような場面で頭に浮かんできた時に自然に口から出てくるようになりますので、是非クラスの外でも挑戦してみてください。

何故書きだすべきなのか？

英語を話すことより、英語を書くことの方が、ハードルが低いからです。書く時は、しっかりと時間に余裕を持って自分の考えを整理する事ができます。一方、話すとなると相手が目の前にいるので、ゆっくりと考えている暇ありません。しかし準備した内容であれば、かなり質の高い発言ができますし、それをお互いに聞きあい、学び合う事でクラス全体のレベルアップに繋がります。何より自分で書いたもので、使った単語や文法はしっかりと頭に残ります。また逆に言えば、そもそも時間をかけても書けない英語は、どんなに頑張っても話す事ができない可能性が高いと思いませんか？

例えばいくつかのクラスでは先行して英検の面接や準一級のライティングなどを事前に宿題としてノートにまとめ、クラスの中で発表する練習をしています。どのクラスも最初は戸惑いますが、何度も繰り返す事で徐々に慣れていきます。課された負荷に脳が対応していているんですね。スポーツや楽器の上達と同じです。今できる事より少しだけ難しくして挑戦する、そして出来るようになったらまたもう少し難しくしてみましよう。

ハーバードも実践、「魔法の五行エッセイ」(ハーバード流「非ネイティブ」の英語勉強法より一部抜粋)
(<http://toyokeizai.net/articles/-/70692>)

たとえば、「私は夏が好きだ」ということが言いたいのであれば、こんな五行エッセイが書けます。

I like summer best.(私は夏がいちばん好きだ) **The days are longer.**(日が長い) **We can dress down.**(楽な服装ができる) **I can travel with my family.**(家族と一緒に旅行ができる) **My favorite season is summer.**(私の好きな季節は夏だ)

たとえば、「私はコーヒーが好きだ」ということが言いたいのであれば、こんな五行エッセイが書けます。

I like coffee.(私はコーヒーが好きだ) **It tastes and smells good.**(味や香りがいい) **It keeps me awake.**(眠気が覚める) **It is good for health.**(健康にいい) **Coffee is my favorite drink.**(私のお気に入りの飲み物はコーヒーだ)

英語が話せない人の特徴として、そもそも「話すことがない」または「話す事が瞬時に思い浮かばない」というものがあります。外国人講師から聞かれる簡単な質問も一文で答えるのではなく、上記のように何文も答える事ができたら上達のスピードは間違いなく上がります。大切なのは、普段からさまざまなトピックについて、5行エッセイを書き、自分の意見を整理しておくことです。そうすることで外国人講師から聞かれる何気ない **What is your favorite drink?** や **What season do you like the best?**

などが素晴らしい練習の場になります。

またクラスのお友達同士で毎週質問を1つ決めておき、それに対して五行エッセイを書き、クラスで発表する習慣もお勧めです。是非担当講師も巻き込んで下さい。彼等はそういった自主性を待っています。そして自分の言いたい事が外国人講師に伝われば目標クリア♪効果はいくつかのクラスで実証済みですので、是非挑戦してみてください。継続は力なりです。

また分からない事への質問や挑戦してみたい内容の補助、事前に外国人担当講師にどんな質問をしてほしいかを伝えてほしいなど、私共に出来る限りの事をさせて頂ければと考えております。是非フロントまでご相談下さい。

また当校の公式ウェブサイト内ブログには私が大学時代の実体験、また実際にクラスで行った内容の詳細を加筆したものを掲載する予定にしております。

進藤有将

JULY SCHEDULE 7月のレッスンスケジュール						
SUNDAY 日	MONDAY 月	TUESDAY 火	WEDNESDAY 水	THURSDAY 木	FRIDAY 金	SATURDAY 土
			1	2 OYAKO CLASSES 親子でイングリッシュ	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16 OYAKO CLASSES 親子でイングリッシュ	17	18
19	20 Sea Day 海の日	21 Parents Day 自由参観日 クリスマス	22 Parents Day 自由参観日 クリスマス スチュアート	23 Parents Day 自由参観日 タイラー	24 Parents Day 自由参観日 タイラー スチュアート	25 Parents Day 自由参観日 タイラー スチュアート
26	27	28 Parents Day 自由参観日 タイラー パネッサ スチュアート	29 Parents Day 自由参観日 トリーナ パネッサ タイラー	30 OYAKO CLASSES 親子でイングリッシュ Parents Day 自由参観日 スチュアート パネッサ クリスマス	31 Parents Day 自由参観日 クリスマス パネッサ トリーナ	8/1 Parents Day 自由参観日 クリスマス パネッサ トリーナ
All classes meet 45 times per school year. 各曜日のレッスン回数は、年間45回で調整しています						



Pumpkin English School

本校 Main Branch

Kosei Espacion Building 3F
1-3-32, Ota, Miyazaki-Shi
Miyazaki
〒880-0903
宮崎県宮崎市太田1-3-32
光成エスパシオンビル 3階

Phone: 0985-50-0726

Fax: 0985-50-0726

E-mail:

pumpkin@wind.ocn.ne.jp

URL: <http://www.pumpkin-english.com/>

学園木花台校

Gakuen-kibanadai School

3-24-11, Gakuen-kibanadai mi-nami, Miyazaki-shi,

Miyazaki 〒889-2153

Phone/Fax 0985-58-3434

〒889-2153

宮崎市学園木花台南3-24-11

Phone/Fax: 0985-58-3434

pumpkinkibana@wonder.ocn.ne.jp

☆ 今月の自由参観日は7月21日～8月1日です。週により該当講師が異なりますので、上記カレンダーをご確認下さい。

☆ 今月の親子でイングリッシュは2日(木)、16日(木)、30日(木)午後2時30分からです。

☆ 7月分授業料の引き落としは7月2日(木)です。前日までに口座残高の確認をお願いいたします。ゆうちょ銀行口座をご利用の方で前回再振替のお知らせをさせていただいた方は、再振替手数料200円を併せて頂戴いたします。また、銀行口座ご利用の方で期日に引きおとしができなかった場合でも、手数料108円はご負担いただきますのでご了承ください。

◇欠席連絡・宿題確認にメールをご利用ください◇

pumpkin@wind.ocn.ne.jp

pumpkinkibana@wonder.ocn.ne.jp